

文教警察委員会 県内所管事務調査の概要

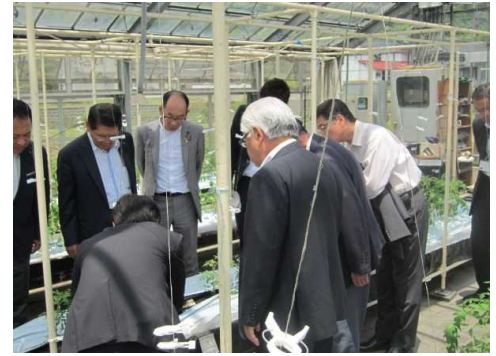
【平成27年6月2日（火）】

◆調査箇所：玖珠美山高等学校

＜概要＞

平成27年4月、玖珠農業高校と森高校が一括統合し、普通科と農業科（1・2年生は地域産業課、3年生は生物生産科・食品科学科）を併設した総合選択制高校である。

また、コミュニティ・スクールを導入し、「地域に根ざし、地域に愛され、地域とともに成長する」という学校ビジョンを掲げ、保護者や地域住民等による学校運営への参画や学校との連携を進めている。



＜主な質疑等＞

- ・ 玖珠美山高校の校名について
- ・ コミュニティ・スクール委員の出身母体について
- ・ コミュニティ・スクール発展に向けての注意点について

◆調査箇所：日田三隈高等学校

＜概要＞

県下初の総合学科を開設し、インターンシップや卒論作成など、特色ある教育活動を展開している。

例年1月に総合学科公开发表会を開催し、卒業生による「30歳のレポート」発表会を実施するなど、キャリア教育の先駆的な取組は全国の注目を集めている。

また、商店街空き店舗活用プロジェクト「三隈マーケット」ではオリジナル商品の販売などを行い、学習で身につけた知識や技術を生かした取組を行っている。



＜主な質疑等＞

- ・ 三隈マーケットの取り組みについて
- ・ 志願状況について
- ・ 「30歳のレポート」活動のビジョンについて

◆調査箇所：日田教育事務所

＜概要＞

日田教育事務所における組織、基本方針、重点方針、管内の概況、管内教職員の状況、学力・体力の状況及びいじめ・不登校調査の状況等について説明を受けた。

また、教育事務所の取組（学力向上支援教員等による授業公開、「一校一実践」の取組等）、管内の特徴的な取組（「施設一体型小中連携校」開校、玖珠町「寺子屋塾」の取組等）及び芯の通った学校組織構築に向けた取組（第4フェーズ）計画について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・ 学校統合する地域に対する教育事務所の支援について
- ・ 閉校した学校の跡地利用について
- ・ 教職員の異動について

◆調査箇所：日田警察署

<概要>

日田警察署における組織、管内の概況、運営重点の推進状況及び日田警察署独自の重点等（雑踏事故防止対策の推進）について説明を受けた。

また、懸案事項として災害対策、重要凶悪事件の初動対応と県境対策、交通死亡事故抑止対策及び県外暴力団の進出防止対策等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 自主防犯パトロール隊の状況について
- ・ 駐在所の統廃合について
- ・ 高齢者交通事故の発生状況及び対策について

【平成27年6月3日（水）】

◆調査箇所：中津警察署

<概要>

中津警察署における組織、管内の概況及び業務重点の推進状況等（総合的な犯罪抑止対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進及び交通死亡事故の抑止等）について説明を受けた。

また、懸案事項として若手警察官の早期育成について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 自転車通学生（中高校生）のヘルメット着用の推進状況について
- ・ 高齢者万引きの実態について
- ・ 福岡県豊前署との災害対策連携について

◆調査箇所：中津北高等学校

<概要>

創立103年目を迎えた、普通科5学級の進学校である。2期制、45分・50分併用授業など、特色あるカリキュラムにより、学習活動、特別活動などに生徒が全力を注ぐことのできる体制を整えている。女子バスケットボール、書道部をはじめ、全国レベルの部活動を多数有している。



<主な質疑等>

- ・ 習熟度別授業の取組について
- ・ 事務補佐員削減に伴う事務室の現状及び教員の負担増について
- ・ 卒業生の活用について

◆調査箇所：中津教育事務所

<概要>

中津教育事務所における管内公立小中学校の概要、管内教職員の概要・人事異動の状況、中津教育事務所の指導の重点及び中津教育事務所指導方針等について説明を受けた。

また、県内小中学校フッ化物洗口推進事業概要及び都道府県・市町村別12歳児一人平均むし歯本数について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・民間人校長の配置及び活用について
- ・フッ化物洗口の推進について
- ・小学校における動物飼育の実態について

◆調査箇所：宇佐支援学校

<概要>

宇佐市、豊後高田市を通学区域とする知的障がい特別支援学校である。児童福祉施設糸口学園に入所する児童生徒が通学している。

地域の企業と連携し、部品加工や組立てを行うなど、特色ある職業教育を行っている。

また、就労支援アドバイザーが一般就労を希望する生徒の希望達成のため、進路指導主任と連携し、県北地域の企業情報の収集及び企業開拓に取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・糸口学園や地域との連携について
- ・地域企業と連携したデュアルシステムの可能性について
- ・卒業後の就労について

【平成27年6月8日（月）】

◆調査箇所：大分市立大道小学校

<概要>

平成26年度から大分市学力向上研究指定校の指定を受け、児童の学力向上に努め、平成27年度はこれまでの実践、研究の成果を公開研究発表会において発表する予定である。

今年度は476名の児童が在籍し、特別支援学級や通級指導教室等を中心に特別支援教育の充実にも力を注いでいる。

学校は、大分市中心部に位置し、現在、駅高架に伴う南北市街地の一体化により、校区内の姿も大きく変わり、児童数が増加している。



<主な質疑等>

- ・校区外からの学校選択枠について
- ・地域との連携について
- ・不審者情報等保護者への連絡体制について

◆調査箇所：警察学校

<概要>

警察学校における組織、教育基本方針、初任科生の入校概要、初任科生等の入校期間、各科入校者数及び日課スケジュール等について説明を受けた。
あわせて、校内施設及び授業の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・採用前後の辞退者、退校者について
- ・職業倫理観、人間性の醸成に関するカリキュラムについて
- ・鑑識訓練及びネット犯罪に対応する訓練について

◆調査箇所：交通機動隊

<概要>

機動隊装備品等の説明を受けた後、潜水訓練の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・DJポリスの訓練について
- ・潜水活動の実績について
- ・潜水方法について

◆調査箇所：埋蔵文化財センター

<概要>

埋蔵文化財センターにおける組織、事業概要及び運営の概要等について説明を受けた。

また、埋蔵文化財センターの現状と課題及びあり方検討会による今後のあり方についての答申について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・あり方検討会のメンバー構成について
- ・九州国立博物館や大分市歴史資料館との連携について
- ・移転に向け体系的に整理が必要。今後、委員会において参考人招致を検討。

◆調査箇所：運転免許センター

<概要>

運転免許センターにおける組織、運営重点及び運転免許・試験・行政処分・講習教習所指導等各業務について説明を受けた。

また、当面の重点及び懸案事項として高齢運転者対策の推進、今後予定されている法改正への適切な対応について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・認知機能検査について
- ・準中型免許導入の背景について
- ・交通安全協会の活動PRについて

【平成27年6月10日（水）】

◆調査箇所：大分教育事務所

<概要>

大分教育事務所における概要、経営計画、管内の状況及び管内の学校教育の現状として大分県学力定着状況調査、体力・運動能力調査、不登校児童生徒数・いじめ認知件数等について説明を受けた。

また、教育人事課から民間人校長の配置状況・効果等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・民生委員やスクールサポーターの活用について
- ・学力調査テストの分析・指導について
- ・地域不登校防止推進教員について

◆調査箇所：大分県立美術館

<概要>

県内の小学生（国立、私立、特別支援学校を含む）約6万人を大分県立美術館「OPAM」の開館記念展「モダン百花繚乱」に招待する「小学生ファーストミュージアム体験事業」について説明を受けた。

また、展示作品について説明を受け、あわせて館内を見学している小学生及びボランティアガイドの方々から意見・感想を聴取した。



<主な質疑等>

- ・ボランティアガイドの指導について
- ・OPAM事務職の英語対応可能者数について
- ・触れることが可能な美術品の有無について

◆調査箇所：大分上野丘高等学校

<概要>

県内随一の歴史と伝統を誇る普通科高校として、キャリア教育の視点ですべての教育活動を俯瞰し、人間力、社会人基礎力、学士力の基盤となる基礎的・汎用的能力の育成を目指している。

平成26年度、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、国際学生や地元企業と連携しながら、底の深い「課外研究」を進めるなかで、論理的・批判的な思考力の育成や、国際的に活躍しようとする意欲の涵養を図り、グローバルリーダーの育成を行っている。



<主な質疑等>

- ・事務補佐員について
- ・電車通学生の状況について
- ・自転車通学生のヘルメット着用について

◆調査箇所：大分中央警察署・大分駅前交番

<概要>

大分中央警察署における組織、管内の概況、業務重点の推進状況（総合的な犯罪抑止対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進、交通死亡事故の抑止等）、懸案事項として大分駅周辺の再開発に伴う治安対策及び繁華街（都町）対策について説明を受けた。

また、大分駅前交番において、施設及び屋上からの整理・誘導等広報活動の状況について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・外国船に対する立ち入りについて
- ・ドローン対策について
- ・都町における防犯カメラの設置状況及び増設予定について

【平成27年6月15日（月）】

◆調査箇所：竹田高等学校

<概要>

創立118年目を迎える、県内でも有数の歴史と伝統を持つ高校である。

「文武両道」をモットーに勉学と部活動の両方に力を入れており、毎年、国公立大学をはじめ数多くの大学に多数の合格者を出している。

また、さわやかあいさつを励行し、地域行事にも積極的に参加するなど、地域と一体となった取組を実践している。



<主な質疑等>

- ・畜産関連への人材育成について
- ・熊本県からの入学定員について
- ・定員確保のための取組について

◆調査箇所：三重総合高等学校久住校

<概要>

三重総合高等学校久住校は、農業科単科の学校であり、地域と連携した家畜の飼育や作物の栽培などの体験的な学習を行っている。

また、豊かな自然環境を活かした環境教育やHP前活動にも熱心に取り組み、循環型農場の確立を目指している。

今年度は、平成24年度に取得したJGAP認証の継続と普及、サフラン、チョロギ、ムラサキ等の独自ブランドの研究を行う。



<主な質疑等>

- ・ 寄宿舍の位置づけ及び改修について
- ・ 学校経営ビジョンについて
- ・ 寄宿舍における職員の宿泊勤務について

◆調査箇所：竹田支援学校

<概要>

豊肥地区唯一の特別支援学校として、竹田市、豊後大野市の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校に在籍する児童生徒に対する相談事業や他機関との連携による特別支援教育のセンター的機能を果たしている。

今年度は高等部において、基礎汎用能力や職業観・勤労観の向上を目的に、定期的・継続的に企業実習を行うデュアルシステムによる実習を導入した。



<主な質疑等>

- ・ 特別支援学校に対する理解・認識について
- ・ 地域との連携について
- ・ 卒業生の進路先の開拓について

◆調査箇所：竹田教育事務所

<概要>

竹田教育事務所における概要、管内小中学校及び教職員の状況、学校教育指導の重点等について説明を受けた。

また、平成27年度指導の重点として、学力・体力の着実な定着及び安心して学べる学校づくりについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 臨時講師の状況について
- ・ 地域や学校の活性化に対する教育事務所の働きかけについて
- ・ 通級教室の児童について

◆調査箇所：竹田警察署

<概要>

竹田警察署における組織、管内の概要、運営重点及び竹田署独自の重点（山岳遭難事故の抑止）等について説明を受けた。

また、懸案事項として地理的現状と対応及び高齢者に関する事案と対応について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・防犯パトロール隊及び青パトの配置について
- ・熊本県、宮崎県との連携について
- ・農機具盗難に対する対策及び注意喚起について

【平成27年6月16日（火）】

◆調査箇所：臼杵支援学校

<概要>

臼杵市、津久見市を通学区とする知的障がい特別支援学校である。臼杵市内にある児童福祉施設みずほ学園に入所している児童生徒が多く通学しており、重症心身障がい児施設恵の聖母の家へ教員を派遣して入所児童生徒に対する訪問教育も行っている。

また、臼津地域の小中学校等の特別支援教育コーディネーターを集めた連絡会を実施するなど、地域の特別支援教育のセンターとして精力的な実践を行っている。



<主な質疑等>

- ・企業開拓及び中小企業家同友会との関係について
- ・卒業後の進路指導・状況について
- ・みずほ学園との関係について

◆調査箇所：新佐伯豊南高等学校

<概要>

平成26年4月に佐伯豊南高校と佐伯鶴岡高校を発展的に統合し、食農ビジネス科、工業技術科、福祉科、総合学科の4学科6学級の新設1年目の専門高校である。

総合学科は人文・自然科学、情報メディア、経営ビジネス、生活創造系列の4つに分かれており、生徒は他の専門学科とあわせて総合選択制を活かした幅広い学習内容を進路選択にあわせて学べる学校である。



<主な質疑等>

- ・農林水産部と農業系高校の連携強化について
- ・福祉科の定員割れについて
- ・進学体制の確立に対する課題について

◆調査箇所：佐伯教育事務所

<概要>

佐伯教育事務所における組織、管内公立小中学校の概要及び管内教職員の人事異動状況等について説明を受けた。

また、平成27年度佐伯教育事務所重点目標として、「子どもが動く授業」への改善・充実について及び「組織的に動く学校」への改善・充実について等説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・特別支援学級と特別支援学校との連携について
- ・教職員の病気休職者の状況について
- ・フッ化物洗口の推進状況について

◆調査箇所：佐伯警察署

<概要>

佐伯警察署における組織、管内の概況及び重点業務推進状況（総合的な犯罪抑止対策の推進、交通死亡事故の抑止及び悪質・重要犯罪等の徹底検挙等）等について説明を受けた。

また、警察官でつくる劇団「番匠劇団」による振り込め詐欺防止の取り組みについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・高齢者による万引きの再発抑止について
- ・若手職員に対する教育について
- ・「番匠劇団」による啓発活動について

【平成27年6月23日（火）】

◆調査箇所：別府警察署

<概要>

別府警察署における組織、管内の概況及び運営重点推進事項（総合的な犯罪抑止対策の推進、子供・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進及び交通死亡事故の抑止）等について説明を受けた。

また、懸案事項として留学生を中心とした外国人居住者対策及び若年警察官の早期育成について説明を受けた。



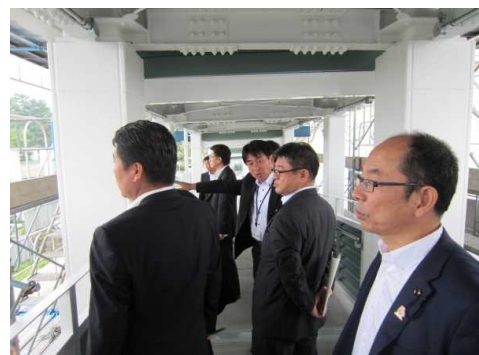
<主な質疑等>

- ・産休職員の支援について
- ・外国人・留学生の犯罪について
- ・特殊詐欺捜査について

◆調査箇所：別府翔青高等学校

<概要>

平成27年4月、別府青山高校と別府商業高校、別府羽室台高校を統合し、普通科、商業科、グローバルコミュニケーション科を併置した単位制高校である。多様な選択科目を設けて、きめ細かい指導が可能であり、また3校の特徴的な部活動を継承している。



<主な質疑等>

- ・習熟度別授業のあり方について
- ・閉校予定の高校との部活動について
- ・教職員の兼務発令について

◆調査箇所：別府教育事務所

<概要>

別府教育事務所における組織、管内の状況、管内指導行政の現状及び課題及び管内教育行政の概要等について説明を受けた。

また、石川順一別府市立西小学校長に「民間人校長の挑戦」と題して、民間人校長の取り組みについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・心のコンシェルジュについて
- ・OPAMファーストミュージアム体験事業の事前学習について
- ・民間人校長の経営能力・マネジメント能力等の活かし方について

◆調査箇所：日出総合高等学校

<概要>

平成25年度に日出暘谷高校と山香農業高校が発展的統合し、農業経営科、機械電子科、総合学科を併置した統合選択制の高校である。

農業経営科ではキノコ栽培、食品製造等の学習による地域農業を担う農業経営者の育成、機械電子科ではものづくりに直結した実践的な学習による技術者・技能者の育成、総合学科では生徒自身の希望による科目選択や少人数授業によるきめ細やかな指導により希望する進路の実現を図っている。



<主な質疑等>

- ・山香農場の利用状況及び弊害について
- ・総合学科のメリットについて
- ・農政部署との連携について

【平成27年6月26日（金）】

◆調査箇所：高速道路交通警察隊

＜概要＞

高速道路交通警察隊における組織、概況、運営重点及び懸案事項（早期臨場方策、霧対策）等について説明を受けた。

また、路上作業中の旗振り合図の意味について説明を受け、あわせて高速道路上での事故を想定し、誘導規制等交通規制の訓練視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・高速道路交通警察隊による規制実施中の受傷事案について
- ・NEXCO交通管理隊との連携について
- ・霧で通行止めする際の基準等について

◆調査箇所：国東高等学校

＜概要＞

平成20年4月、双国高校・国東高校・国東農工高校の3校が発展的統合し、普通科、園芸ビジネス科、メカトロニクス科、情報システム工学科、電子工業科を設置した総合選択制高校である。

きめ細かく徹底した進学指導や、スペシャリストとして活躍する創造性豊かな人材を育成する指導に力を入れている。

また、部活動においても工業技術部は6年連続全国大会出場を果たすなど、その活躍はめざましい。



＜主な質疑等＞

- ・歴史博物館との連携について
- ・生徒の通学における交通手段について
- ・国東地区中学校卒業生の推移及び入学割合について

◆調査箇所：豊後高田市立田染中学校

＜概要＞

全校生徒16名の極小規模校であり、地域との交流がさかんな学校である。

平成25～26年度、文部科学省教育課程「伝統文化教育」の指定校となり、地域教材（富貴寺、熊野磨崖仏、真木大堂、田染の荘等）を題材として、ふるさと学習を行い、郷土を愛する個々の育成を図った。

また、世界農業遺産に関する学習の取組として、地域に出向いての体験学習を積極的に行うなど、世界農業遺産について多くのことを学んだ。



＜主な質疑等＞

- ・歴史博物館との連携について
- ・小規模小中学校の存続・統合予定について
- ・ケーブルテレビによる情報発信について